

臨海斎場における増築基本設計の中間報告等について

令和7年8月21日臨海部広域斎場組合議会・懇談会において、臨海斎場における増築基本設計の中間報告および火葬待合室の式場利用開始について報告があったため、区民委員会において報告する。

1. 増築基本設計

臨海部広域斎場組合では、近年の区民ニーズの変化や将来の火葬需要に対応するため、令和6年度に臨海斎場施設整備基本方針を見直し、火葬炉等を拡充することにした。

令和7年度は、令和12年度の供用開始に向け、基本設計を行っている。この中間報告については、別紙「臨海斎場施設整備に伴う増築及び既存棟改修基本設計 中間報告」のとおりである。

2. 火葬待合室の式場利用開始

(1)趣旨

近年、家族葬等の小規模な葬儀や通夜を伴わない葬儀が増え、少人数利用の式場ニーズが増えている。この需要に応えるため、既存の火葬待合室8室を式場としても利用できるように改修する。なお増築施設が開場するまでは4室を供用し、開場後は8室全ての供用を開始する。

(2)利用料金及び席数

火葬待合室を式場として利用する場合は、組織区内35,000円、組織区外105,000円。席数は30席。

(3)火葬待合室改修後の新式場「二階式場」(仮称)の運用について

家族葬等の小規模な葬儀であり、かつ通夜を伴わない葬儀を想定している。葬儀終了後は、別のご葬家に火葬待合室として貸し出す。式場の設営・撤収を行う葬祭業者等事業者を対象に、運用について説明会を開催する。

(4)スケジュール(予定)

①令和7年11月頃

火葬待合室の内装改修及び机の入替、予約システムの改修

②令和7年12月頃

葬祭業者等事業者への説明

③令和8年1月

前半頃に予約を開始、後半頃から供用開始

臨海斎場施設整備に伴う増築及び既存棟改修基本設計 中間報告

1.コンセプト

(1) 故人との最後のお別れの場にふさわしい施設計画

・故人の尊厳を守り、送る人々に安らぎを与える空間をつくり、自然光や周辺の緑を活かした施設とする。

(2) プライバシー性の高い、会葬の各シーンにふさわしい施設計画

・出入口を分離し、迎え入れが重なった場合でも独立した動線を確保する。
・炉前に独立型の告別室・収骨室を計画する。

(3) 誰もが安心して利用できる施設計画

・各棟への誘導案内表示を設け、誰もが利用しやすいサイン計画とする。
・バリアフリーとし、全ての人が利用しやすい施設とする。

(4) 既存棟と一体的な運用を実現する増築・施設計画

・既存棟と接続することにより、一体的でスムーズな会葬動線、管理動線を構成する。

(5) 持続可能で、環境に配慮した施設計画

・環境とBCPIに配慮した計画とし、今後の基本設計において検討を進める。
・西日を極力遮蔽し、中央部に光庭やハイサイトライトを設けて自然採光・通風を室内に取り入れ空調負荷を低減する。

2.施設概要

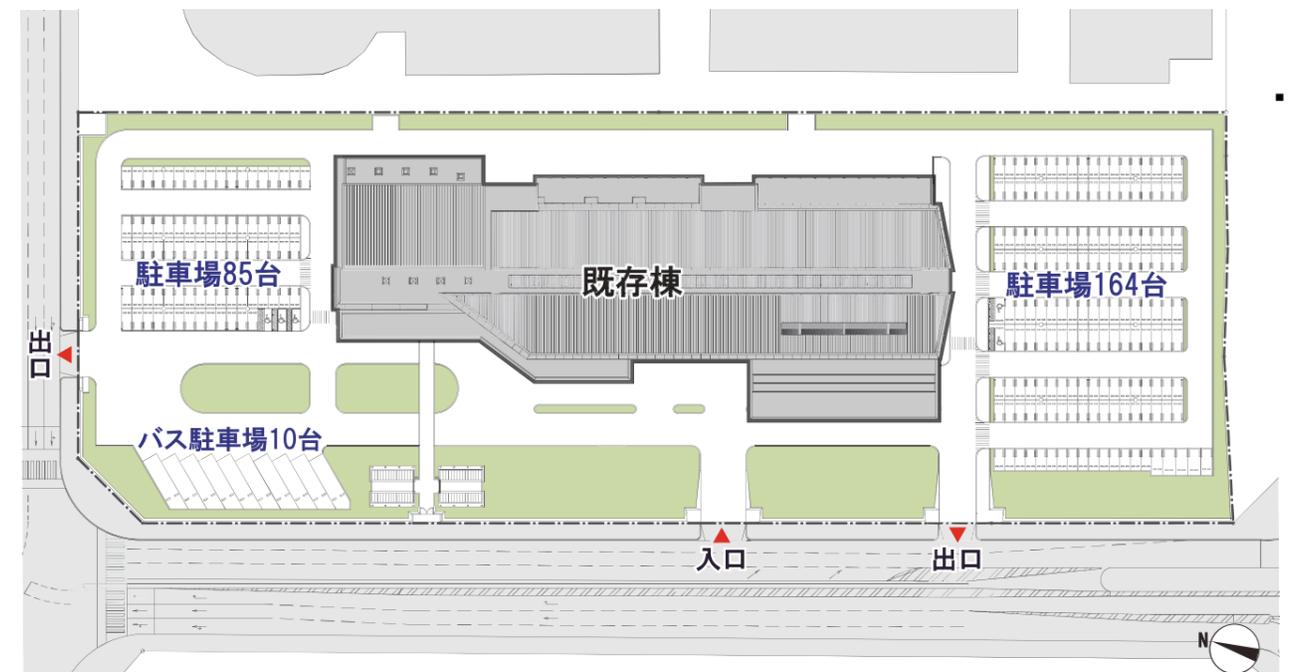


所在地 大田区東海1-3-1
敷地面積 22,496.74㎡
高さ・規模 約15m・地上3階建て(地下なし)
延床面積 約4,400㎡ (既存棟約7,600㎡)
各階面積

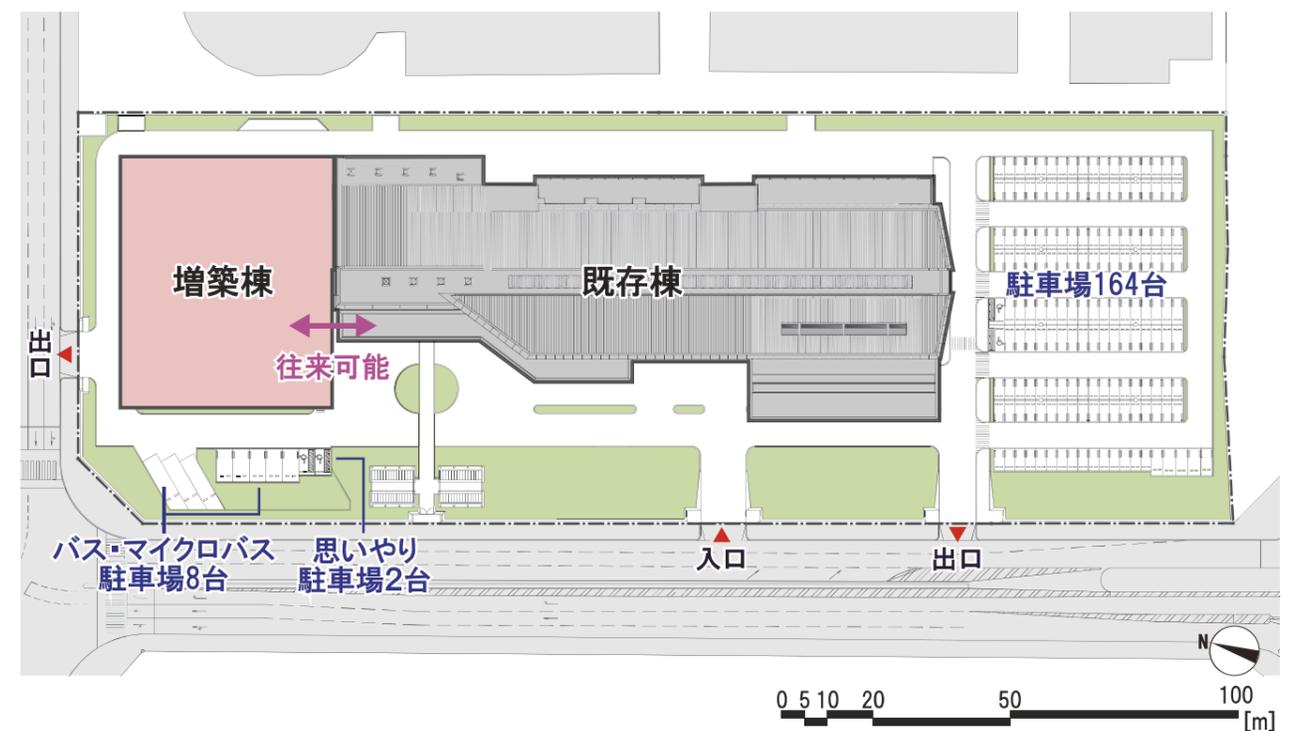
1階	告別室・収骨室・火葬炉設備等	約1,900㎡
2階	待合室7室・多目的室3室等	約2,150㎡
3階	設備室等	約350㎡

3.配置計画

計画前 ・駐車台数 計249台 (バス駐車場10台除く)



計画後 ・駐車台数 計166台 (バス・マイクロバス駐車場8台除く)



4. 平面計画

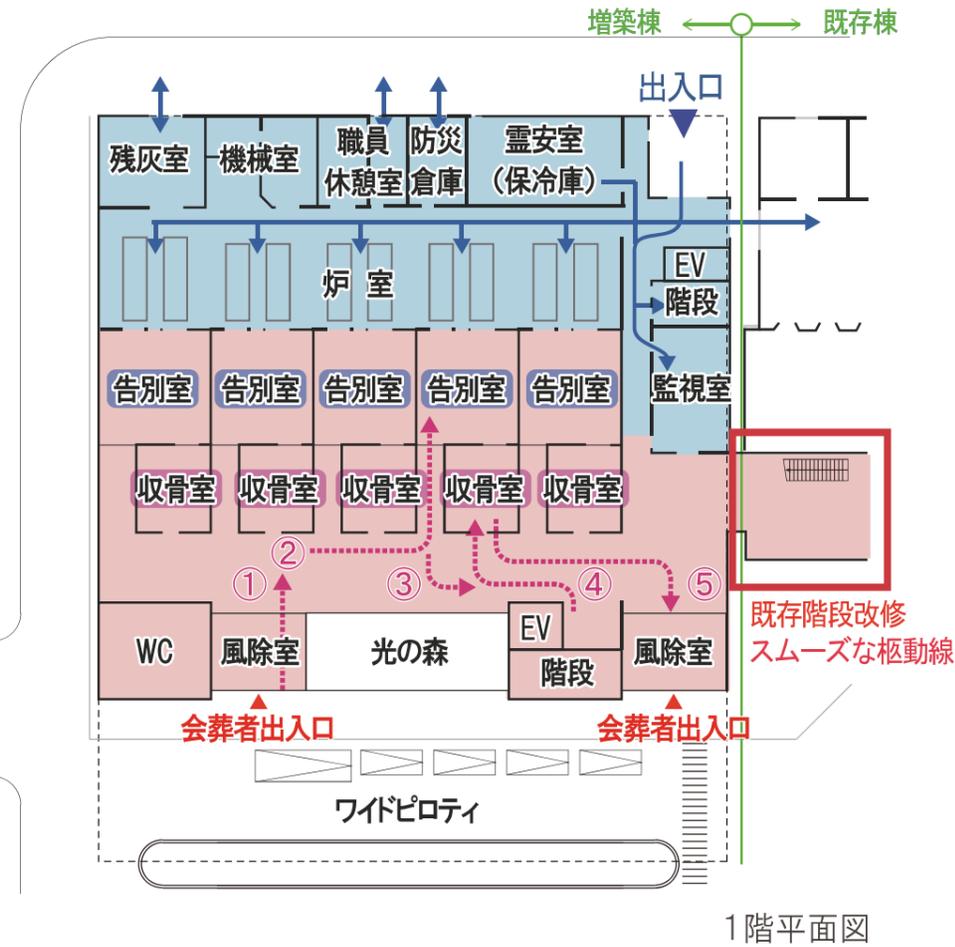
- ・増築棟の各諸室の構成イメージと動線計画を下記に示す。
- ・赤いエリアが主に会葬者利用、青いエリアが主にスタッフ利用を想定。

凡例

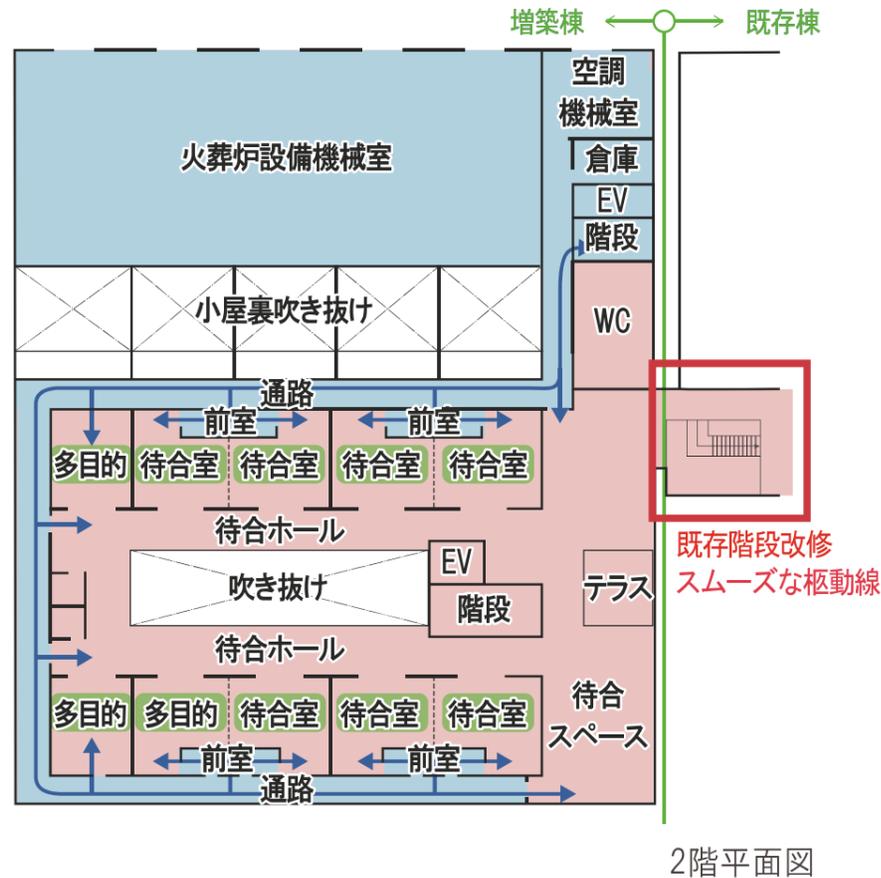
- 会葬者の動線 ★ 火葬の手順
【①到着 → ②告別 → ③火葬(待合) → ④収骨 → ⑤出発】
- ← スタッフの動線
- 会葬者利用エリア
- 管理諸室エリア

諸室面積

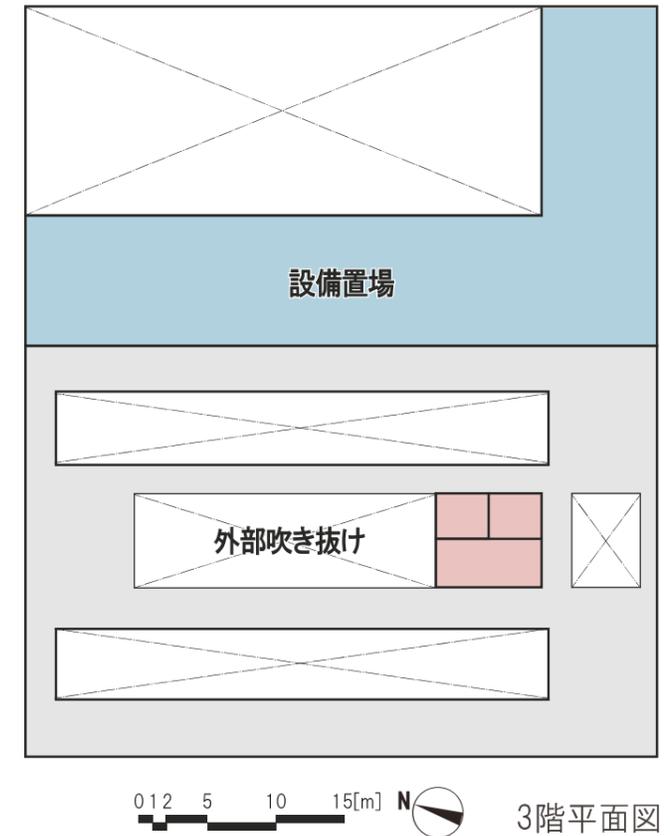
室名称	各室合計面積	1室あたり
告別室(1階)	約340㎡	約68㎡
収骨室(1階)	約160㎡	約32㎡
待合・多目的室(2階)	約520㎡	約52㎡



1階平面図



2階平面図



3階平面図

5. 火葬炉計画

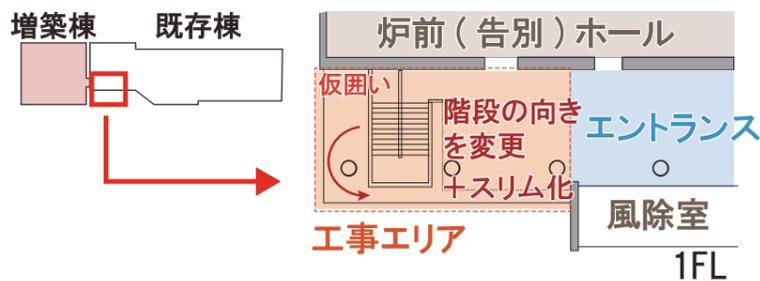
	大型炉	超大型炉
火葬炉基数	9基	1基
火葬件数	通常3回/炉・日 (緊急時等3.5回/炉・日)	

[火葬炉イメージ]



6. 既存棟の改修

- ・既存棟から増築棟へのスムーズな動線を確保する。
- ・増築後に運営上も一体連携が可能となるよう、既存棟と設備の改善を図る。



7. 今後のスケジュール

	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	R11(2029)年度	R12(2030)年度
基本設計	基本設計	都市計画変更	実施設計	工事	供用開始	
火葬待合室の式場利用	4室開始					8室開始